

「ヤングケアラー」

「あなたの身近に
こんな子どもはいませんか？」

「ヤングケアラー」とは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。

今年4月に発表された調査結果によれば、「世話をしている家族がいる」という生徒が、中学生で約17人に1人、高校生で約24人に1人存在するということが分かりました。子どもが家族の役に立とうとすることで、人への優しさなど多くの大切なことを学べる反面、本人の成長や教育に影響が出たり、同世代や社会からの孤立などが問題視されています。

家族のケアをすることが「当然であり、誰かに助けを求めるものではない」と感じている子どもが多く、周囲がヤングケアラーに気づくのは難しいと指摘する専門家がいます。同時に、ヤングケアラーだった

「人権のひろば」に対するご意見、ご感想は秘書広報課または、人権室までお寄せください。

過去の自分を思い出し「(周りの大人に)お世話かいでもいいので積極的に関わってほしかった」と話す経験者もいます。

子どもたちには勉強だけでなく、友人とのたわいない遊びの時間、クラブ活動など、その年代にしかできない経験があります。その子どもたちの時間を守るために、大人にできることはないでしょうか。まずは、関心を持つことから始めてみませんか。



厚生労働省HP



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている
障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている
目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている
日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている
アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している
がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている
障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている
障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration: Izumi Shiga

ダイトンをさがせ!

9月号の隠れ場所

表紙の右端にドミノを持つダイトンの手が写っています。



ドミノが倒れないように積むのが難しかったよ! 今月もみんなの応募待ってるね!



たくさんのご応募ありがとうございました。

10月号のダイトンをさがせ!

正解者にはベーカリーショップループルの提供のパンの引換券(千円分)をプレゼント!

締め切り
10月27日(水)
(消印有効)



※写真はイメージです

ベーカリーショップ
ループル
新町12-6 ☎873・1514



事業者募集!!

正解者プレゼントをご提供いただける事業者を募集しています! 詳しくは電話またはメールでお問い合わせください。

☎秘書広報課 ☎870・0403 ✉kohokocho@city.daito.lg.jp



◀応募フォームができて、応募しやすくなりました!

応募は二次元コードのフォームから。はがきかメールの場合は住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号、ダイトンが隠れている場所、広報誌の感想や広報誌に取り上げてほしいテーマなどを書いて〒574-8555 秘書広報課 ✉kohokocho@city.daito.lg.jp へ応募は1人1通。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。[隠れダイトンの解答]は次月号に掲載します